



◆『関東運輸局長表彰受賞御礼』

副本部長・本部連絡副委員長 鳥ノ海 学
〔足立支部 協同運輸株〕

ロジスティクス研究会の皆様、大変お世話になっております。この度関東運輸局長表彰を頂戴し、受賞者を祝う会にお招きいただき、有難うございました。受賞者を代表して御礼申し上げます。功績ある先輩方に半歩近づけたのかなあ、と勝手に思っております。

現在、我々運輸業界は、2024年問題をはじめ、人手不足、物流コストの上昇、更新制の施行等、様々な問題を抱えております。どれから手を付けてよいのかわからないくらいです。必然的にDXの促進、労働条件の改善等を手掛けていかなければなりません。ロジスティクス研究会の会員の皆様は、先進的に研究をされ、切磋琢磨し、実行されている方々の集まりであると認識しております。こうした問題を会員の皆様と共有し、また国土交通省との意見交換をし、より良い方向へ進んでいくことを実行されている会ですので、参加意義がありますし、私も頑張っていこうと思っております。

ヒューマンコミュニケーションの場としても、会社の大小はあれど、同業者としていろいろな方のお話を伺えるのは大変勉強になります。

現在、足立支部長として2期目を務めております。今までは先輩方の背中を追いかけて、ついていくというスタンスで活動してきましたが、今は後進も育てなければならぬと痛感しております。予算要望や防災活動等、行政とのやり取り、事故防止や子供たちの安全教室等、各警察署とのやり取り、労働基準局、政治的なこと、そして支部会員へのセミナー開催やイベントへの参加、挙げれば枚挙にいとまがありません。先輩方のこれまでの活動には頭が下がる思いです。

受賞に恥じぬよう、これからも気を引き締めて、先輩方にさらに半歩でも近づけるよう頑張っていきたいと思います。

.....

◆『年寄りの冷や水』

幹事・物流政策委員（東ト協副会長）鎮目 隆雄
〔深川支部 ㈱フコックス〕

由緒ある「ひびき」寄稿依頼となると、いささか緊張。さて何を書こうか…。どうせ書くなら恥を忍んで、これまでの人生をトピックス的にまとめてみよう。

昭和31年9月21日、東京都江東区佐賀（現在の弊社本社所在地）にて生まれ、はや69年。兄妹は2歳上の姉が一人。従って生まれた時から跡取りとして決められた人生がスタート。幼稚園は姉の進学の方策として、四谷にある某女子校の附属幼稚園に。女子校の附属だけあって1クラスに男子が4人のみ。そんな環境に育ったもやしの様な運動嫌いの少年が変身したのは公立小学校に入学後、高学年になった時の担任が鬼のような体育学校出身の男の先生との出会いだった。体育嫌いのもやしの様な少年にその先生が「何やっとなるんじゃっ!」と言ったかどうかは定かで無いが、こっぴどく叱られた。その時のショックはその後の人生に少なからず影響を与えた。それからというもの、その先生が朝練と称して器械体操を授業開始前に行っていたので、毎日欠かさず参加。放課後はサッカーに興じていつのまにかすっかり運動好きになっていた。中学はこれも母親の方策で地元を離れ、当時高校進学に有利とされた公立中学にわざわざ越境入学。さてクラブ活動は本来サッカー部に入りたかったが、その学校は校庭がコンクリート。サッカー部自体が存在しないので、やむなくバレーボール部に。当時は9人制だったが弱かったので試合に負けて同期と一緒に床屋に行き、全員で丸刈りにした。3年になったら一応背が高い方だったので中衛の左。つまりエースポジションをはっていた。高校は一応希望していた私立大付属高校に合格。バレーボール（高校は流石に6人制）部に入り一から基礎を叩き込まれる。この高校時代が最も過酷な練習と今では考えられない厳しい指導のもと、自分自身も真剣に取り組み、関東大会までは出場。都大会新人戦では初のセッターでの参戦で3位入賞。これが一番良い思い出か。一方で文化祭では「気まぐれコンセプト」や「私をスキーに連れてって」でのちに

有名になったホイチョイプロダクションのメンバーが二つ上の先輩ということでその手伝いをしたり、3年の時はホイチョイの真似をして学園ものショートフィルムを仲間と作って内輪だけでうけていた。そんなこんなで大学は内部進学という安直な道を選び、バレーボールも続けていたが高校時代が花だった。運動嫌いな少年はいつしかスポーツ好きとなり（ゴルフはご存じの方も多いが下手くそ!）この歳でも冬はスキー、年間を通じてロードバイクに興じるお爺さんを孫たちはどうみているのか？

まだまだ引退はできそうに無い今日この頃。しっかりと体を鍛えて仕事に遊びに邁進していきたい。

P.S. 社会に出てからこの業界でのあれこれは、機会があれば…。

.....

◆『物流業界説明・面接会を訪ねて』

副本部長・広報委員長 菅沼 寛二
〔千代田支部 ㈱スガヌマトランスポート〕

8/8(金)八王子・東京たま未来メッセにおいて、運送会社が一堂に会して求職者さんと面談をおこなう、物流業界説明・面接会をお訪ねしました。

毎回、多数の来場者を数えるようになったと聞いておりました説明会でしたが、この日も午前と午後に分けて2回開催。快晴酷暑の週末金曜日でしたが、なかなか賑わっていました。来場者は170名を数える程まで集まられた（過去最高人数）とのこと。出展事業者も25社と、とても大規模なものでした。今回、お訪ねしたのは多摩支部の主催。多摩支部は本年も2月、6月に続いて今回、この後も10月14日に立川での開催予定と、会合を定期的に継続されています。各支部での開催も行われている状況で、前回は神ト協さん、今回も多摩支部女性部や杉並支部などからの視察見学もあって注目を集めています。

「相談会の参加費（出展者）は3万円としていますが、会場費・設営準備・ハローワークとの準備にあてる目的です。この八王子開催では当日朝から参加者みんなで什器搬入してブースの設営や会場整備を自分たちで行い、後片付けまで一緒になってみんなで業界の底上げに尽力を注いでいます。」（多摩支部：松本英孝さん）

コンパクトな運営と持続を心掛けておられますが、会合の運営と物流業界説明会の部分を社団法人「GLB物流人材育成機構」が受け持ち、来場者への呼びかけ・求人票の配布を各所のハローワークが連携するという役割分担で進行して行きます。今回、ハローワーク八王子さんとGLBさんが準備された来場者への配布資料も分厚く、25社分の求人票が添付されていて、計60件もの求人情報になっていました。説明会を受講した来場者はこの後、併設の会社ブースを訪ねて個別の相談（面接会）に。会社の方からも呼び込みの声をかけをしたり、気軽に相談できる雰囲気づくりに気を配っておられました。「こちらのイベントを長年にわたり実施運営してまいりましたが、2024年問題にとどまらず、特にドライバー不足や教育等で寄与すべく取り組みを続けております。これからも中小の運送事業者様を支えられる外部機関を目指して努力していく所存です。」（GLB代表理事 臼井稔清さん）

午前の部の来場者は50・60代の方が多いように見受けられましたが、1/3程は20代～、なかには女性も参加されて相談を受けていました。どうやらハローワークの方ではDM発送なども活用してイベントの告知案内されているようです。

「来場者（求職者）は未経験者が多くなっています。仕事の内容や職場の雰囲気も直接に伝えられるのが強みで、後日の採用面接に応募を受けて、実際の採用にまでつながっていきます。」「参加企業も業種業態さまざまですが、そのおかげか、相談を受けている中で（求職者に）他社さんを勧めたり、とマッチングを高めるような思わぬ効果も生じてきました。」（松本さん）「継続的に参加されている企業も多いので、次第に若手担当者に面接会を任せるなど、参加企業同士もPRには切磋琢磨しています。」（多摩支部：土屋明子さん） 業界の普及啓発や理解の向上にも一役を買っている様子がうかがい知ることの出来るイベントでした。